

市民協働のまちづくりに向けて
みんなでまち活しよう! ①

「パソコンスクールNPOゆいまーる」幸せになるための就労支援をしています!



◀左から
友寄さん
(パソコン会計講師)
前田理事長
新井さん
(弥生インストラクター)

◆どんなまちづくり活動をしているの?

パソコンスクール NPO ゆいまーる(「以下、ゆいまーる」前田有得理事長)は、障がい者・ひとり親家庭・生活保護者・中高年者・ニート等の職業訓練及び就職支援活動を行っている NPO です。ゆいまーるでは、市役所や社会福祉協議会などと連携し、就労が難しい方々に対して、パソコンによる経理管理技術を習得させることによって、これまで多くの方を就労させる取り組みを行っています。

◆市の課題とNPOの持つ専門性のマッチング



就労支援講座の様子
実践できる技術を学んでいます

現在、市内には約 1,600 世帯のひとり親家庭があり、それら家庭では出産・子育てにより就業能力を身につける機会が少なく、結果として出産や子育てが就労への不利な条件として、収入と生活が不安定になりがちな傾向にあります。

そのような中、市では昨年度「ひとり親家庭・障がい者等就労支援事業」をゆいまーるに事業委託し、経理や給与計算、販売管理を体系的に訓練する講座を実施したところ、講座を受講した 16 名が会計事務所やクリニック、保育園などの就労に結び付けることができました。受講生からは、経理管理技術を身に付けることにより、仕事の選択の幅が広がり、子育てをしながらも自分の条件にあった良い仕事を選ぶことができるようになったと好評価が寄せられています。今回の委託事業では、市の課題(ひとり親家庭の安定就業)と NPO の持つ専門性(パソコン経理管理技術)がうまくマッチングした協働の取り組みと言えます。

◆今後のまちづくりに向けて

ゆいまーる理事長の前田さんは、こうした就労支援の取り組みを継続する一方で、「地域が良くなるためにさらに自分たちのできることをしたい」として「地域活動をしている NPO や団体の経理担当向けの相談も行いますので地域の望ましい未来の実現に向けてゆいまーるを活用してください。」と地域貢献に意欲的です。

「“みんなでまち活”しよう!」では宜野湾市の市民協働のまちづくりに向けて、市内でまちづくり活動をしている元気なNPOや団体等の取り組みを紹介していきます。

パソコンスクールNPOゆいまーる
宜野湾市宇地泊558-18
月曜日～金曜日(土日・祝日お休み)
※9:00-17:00
TEL 898-5107

問合せ:市民協働推進課 市民協働係 ☎893-4411 内線403・422

友好合作都市・中国廈門市より

ニイハオ! ~その3~

第12期 宜野湾市海外留学生 伊野波 なつ

また、泉州では中国式のシーミー(清明節)に参加しました。中国では、清明節はとても大切な行事の一つで、日本に比べ圧倒的に祝日の少ない中国でもこの日は祝日で会社や学校は休みになり、家族で墓参りに行きます。しかし、中国の墓は日本のような家族単位ではなく、個人単位で埋葬されているのですが、人口がとも多くなつた今、墓を持つことが難しくなっているのです。家族が集まって食事をするだけという方法にシフトしてきているそうです。泉州をはじめとする閩南(びんなん)地方では、清明節に、日本の手巻き寿司のように自分で具を選んで、春巻の皮で包んで食べるという習慣があります。色々な種類の具が用意されていて、親

国時代に福州で亡くなった人たちのために作られた「琉球墓園」があり、沖縄県民を中心に日本人、中国人が集まりシーミーをしました。空手や琉舞の演技もあり、沖縄のシーミーで食べる重箱やお菓子、サターアンダギーも食べることができて、久しぶりに沖縄を感じて、とても懐かしくなりました。

前回のレポートから3カ月経ち、アモイはもうすっかり夏になりました。4月でも気温が30度を超える日もあります。この3カ月、私は香港、マカオ、台北、福州、泉州、永定(えいにてい)を旅行しました。

去年の9月から始まったアモイでの学校生活ですが、来月には授業は全て終了し、夏休みに入ります。残り少ない学校生活を楽しんで、さらに中国語を上達させたいです。

威もたくさん集まるので、本当に賑やかで楽しかったです。

先学期は基礎中国語の授業を受けていたのですが、今学期からはビジネス中国語の授業が始まり、授業の二環として毎週アモイの様々な企業を訪れています。単語や話の内容は今まで習っていたものに比べても難しいのですが、実際に仕事をしている方々と話すことのできる数少ない良い機会なので、頑張っていきたいです。



↑留学生と先生で醤油工場見学(中段左から3番目)



↑永定の土樓へ旅行(右から2番目)